

会議録 (1)

会議の名称	令和4年度第2回図書館協議会
開催日時	令和4年11月11日(金) 開会 午前10時00分 閉会 午前11時30分
開催場所	飯能市立図書館 多目的ホールA
議長氏名	頓所 裕子 委員長
出席委員	岩崎 充千子 湯川 康宏 松下 晃 村野 みどり 頓所 裕子 野崎 道子 石川 賀一
欠席委員	中村 公一 森 美由紀 町田 光子
説明者の職氏名	図書館長 紫藤 悦子 図書館主査 大野 弘子 図書館主査 竹井 順子 名栗分室長 熊澤 志津代 図書館主任 前田 真樹
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	同上

会議録 (2)

議事の概要 (経過) ・決定事項

令和4年度第2回飯能市図書館協議会を開催し、協議事項 (1) 令和4年度の利用状況について、(2) 令和4年度の図書館評価指標の中間報告についてを協議いただき承認された。

会議録 (3)

午前 10 時開会

- 主 査 定刻となりましたので始めさせていただきます。
本日は、大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。
本日の欠席の委員は、中村委員、森委員、町田委員の 3 名です。
飯能市図書館条例第 12 条第 2 項により、出席委員が過半数に達しておりますので、ただ今から飯能市図書館協議会を開会させていただきます。
最初に、この会議につきまして公開とさせていただくことをご異議ございませんか。
(異議なし)
傍聴の申し出があった場合は許可することをご異議ございませんか。
(異議なし)
- 本日の協議会は公開としますが、傍聴者はありません。
それでは、開会に当たりまして、紫藤館長からごあいさつを申し上げます。
- 館 長 (あいさつ)
- 主 査 続きますと頓所委員長よりごあいさつをいただきます。
- 委員長 (あいさつ)
- 主 査 3 の協議事項に入ります。
協議に先立ちまして、本日の資料を確認させていただきます。
資料はおそろいでしょうか。
- それでは、協議事項に入らせていただきます。
規則にしたがひまして、委員長に議長となつていただきます。
頓所委員長、議事の進行をよろしくお願いいたします。
- 委員長 それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。
委員の皆様のご協力をお願いいたします。
協議事項に入ります。
協議事項 (1) 令和 4 年度の利用状況についてを議題といたします。
事務局の説明を求めます。

館長他	<p>(資料 1-1 により説明) 【紫藤館長】 (資料 1-2 により説明) 【前田主任】 (資料 1-3 により説明) 【竹井リーダー】 (資料 1-4 により説明) 【熊澤所長】</p>
委員長	<p>説明は以上です。 質疑、ご意見はございますか。</p>
委員	<p>資料 1-1 の利用状況で、入間市、日高市の方の利用について報告がありましたが、開館当初はかなり他市の方の利用があつて、年々落ち着いてきているかと思ひます。逆に飯能市から、入間市、日高市の図書館の利用がどれくらいあるのかを伺いたひと思ひます。</p> <p>他市の方の飯能市の利用の増減と、他市を利用する飯能市民の増減で、魅力度がわかると思ひます。他市の方の利用があるというのは、こちらの利用が魅力があるからということだす。同時に出ていく方も追つて比較をし、報告していただきたひです。それには、先方と情報交換していく必要もあると思ひます。その情報は相手にも有益な情報だすし、お互いに地域連携も含めて交換し、利用サービスにつなげていくことができると思ひるので、データがあれば伺いたひです。</p>
館長	<p>他市の令和 3 年度の状況について報告します。飯能市民がダイア 4 市を利用した人数は 13,841 人、青梅市の利用は 863 人だす。なお、市別の状況については、入間市の図書館を利用する方が多く、6,321 人、次いで、日高市、所沢市、青梅市、狭山市という状況となつております。</p> <p>貸出資料数は、日高市の利用が 22,853 点だす。次いで、入間市、青梅市、所沢市、狭山市と続く状況だす。比率等につきましては、年度末には、利用状況を把握し報告したひと考えております。</p>
委員	<p>単年データではなく、前年度の増減はどうなのか、入間市など、隣接市の利用が、増えているのか、減っているのか、特にか知りたい情報だす。他市流出は魅力減につながっている恐れがあるので、毎年 2 年分くらい追つて前年度と比較して、報告していただけるとありがたいだす。</p>
主査	<p>前年度、令和 2 年度の状況について追加で報告いたします。飯能市民がダイア 4 市を利用した人数は 10,864 人、青梅市の利用は 562 人だす。昨年度末の方が前年度より全市合計で 3,300 人増えています。他市の方が飯能市を利用した人数も 4,500 人あまり増えているので、どちらも増加傾向にあるようだす。</p>
委員	<p>コロナ禍という事情もあるでしょうが、どちらも利用する人が両方増えているのはいい方向に向かっていると思ひますし、今後も報告していただけると参考になります。</p>

委員 資料1-2の事業報告の中で、他課との連携事業が活発に行われていて、去年よりも増えていて良いと思います。ただ、市民協働推進課のように課の名前が毎年のように変わってしまい、新規なのか継続なのかの比較がしずらいです。新規の事業というのは、ハードルが高く、準備が大変だと思います。今までのことを続けつつ、新しいことを入れていくことをしないと増えていかないので、一度できたつながりを切らずに続けていただきたいです。

資料の中に、毎年継続して連携している事業と新規の事業とがわかるような印があると注意して見られて良いと思います。説明時も継続、新規など補足があると助かります。

館長 市役所との連携事業は重要だと考えております。過去の履歴を比較できるよう工夫して表を作ると同時に、継続する事業は続けて行いつつ、新規事業も開拓していくことを検討していきたいと思っております。

主任 新規か継続事業かということについてですが、市民協働推進課は、昨年、地域活動支援課でしたので、男女共同参画関係の映画会と展示については継続事業です。また、介護福祉課の世界アルツハイマー月間の特別展示と映画会についても、継続して行っております。新規としましては、産業振興課の人権・ハラスメント防止の展示については新規事業となります。3年ぶりの開催となりますのが、フィンランドの講演会です。

委員 行事をやるときに、行事が決まってから市役所に行くのですか。市役所の課から行事をやりたいといわれるのですか。

館長 市の所管課からの申し出が多いように思います。図書館の発信力を承知していただいているようで、課題を抱える課では、図書館を巻き込んだ事業展開がとても多いように思います。

委員 各課から図書館に対して申し出があって企画をするのですか。この映画を上映したいからと課に共催しませんかともっていくことはあるのですか。

主査 共催で行う映画会につきましては、他課からの申し出により行っております。共催以外の映画会につきましては、図書館が主体となって選んだものを上映しております。

委員 他課と連携した事業は大事ですし、重要だと感じています。展示の利用状況や映画会の応募者数などはわかりますか。

また、どういう企画に利用者が反応し、ニーズがあるのかを知ること、企画の内容によって、同じテーマでも、映画だと来る、講演だと来るな

ど、傾向がわかれば、対応の仕方が変わってくるのではないのでしょうか。
連携したイベントや映画会について、他課から申し出があると聞きました
が、図書館に持ち込まれた企画に対して、図書館独自でアピールする
コーナーを作るとかの工夫があればお聞かせ願いたいです。

館長 企画展示の図書館独自のアピールにつきましては、利用者の一番目に
触れる機会の高い入口特設コーナーに、図書館としてはデザイン的に工
夫をして、発信力を高めていくようにしています。また、特設展示につ
きましてはフェイスブックを利用して広く発信しています。

主任 各課からの申し込みで企画をすることが多いですが、具体的な内容は
図書館から提案させていただくことがほとんどです。展示の申し込みが
あった時は、近いテーマである映画やDVDの上映をしたらどうですか
などと働きかけを行っております。また、展示の時の本の選書は図書館
側で行っております。今年の5月からは、展示の時に並べている本につ
きまして、その本の紹介として文化新聞に記事を提供し掲載していま
す。

委員 素朴な疑問として、展示の時に、本でなく、作品や図書館で所蔵して
いるメディアを紐づけたりするのにか気になりました。
SNSでの発信もですが、直接来てくれた人の目に確実に届くチャン
スですので、工夫をすると、プラスアルファで図書館利用につながるよ
うな宣伝やチラシなど図書館に来てくれた方への工夫があればお聞き
きしたいです。

館長 テーマの中で、男女共同参画、アルツハイマーなどの映画会を多目的
ホールで開催した時に、展示している図書を、多目的ホール入口に移動
して設けて、すぐに貸し出せる状況を作りました。事業と貸し出しがう
まくリンクするように考えていきたいと思えます。

委員 タイミングをうまくすると興味ある人は来てくれると思えます。例え
ば、URLをつけてみる、ファイルをホームページにつけて送って、見
てくださいと上げるなど、実験的に試してみるのもいいのではないでし
ょうか。発信の方法を共有するのもいいと思えます。

館長 実際、映画会の参加は高齢者が多いので、行政課題を解消するために
映画会を開いても、ある程度の層の方への発信にしかならないので、本
当に必要な人に届ける人へのタイミングや、その他のツールは戦略的に
共催課と検討し課題解決を考えてみたいと思えます。

委員 意見交換し、進めていくことが大事だと思います。

委 員	<p>職員の負担にならないことを気を付けていかないと、続かなくなってしまうと思います。連携の話を持ってきた人に仕事をしてもらうのもいいでしょう。別の学校や、図書館、大学の方が選んだおすすめ本、相手にやっていただくのはお互いにとって魅力的です。</p> <p>本の紹介にしても、部長や、議員さんのおすすめ本として、相手のやりたいことをPRしてもらい効果を上げていくと、負担も減り、新しいアイデアで良くなっていくのではないかと思います。</p>
館 長	<p>良いアイデアをいただきましたので、委員さん方の意見を融合して取り組んでいきたいと思っています。</p>
委 員	<p>フェイスブックはどのように活用しているのですか。イベントの紹介だけですか。</p>
主 任	<p>フェイスブックにつきましては、展示やイベント、映画などの行事の紹介がメインとなっております。そのほかに蔵書点検の休館など館のお知らせも含めて掲載しています。</p>
委 員	<p>この本面白かったなどの意見や投稿はないのですか。イベントに参加してこうでしたなどはないのですか。</p>
主 任	<p>イベント終了報告は掲載しています。フォロワーの書き込みはありますが、市で返信はしないことになっているので、図書館からのアプローチや個別の返信はしていません。</p>
委 員	<p>映画会は来た方の人数が出ますが、企画展示はどのように数字を出しているのですか。</p>
主 任	<p>企画展示は、貸出実績になっております。</p>
委 員	<p>企画展示はとても興味があります。展示の本が2冊あるといいと思いました。自分が借りてしまうと、次に来た方が借りることができませんし、興味があってきた方は、その時にすぐ手にとって見たいと思います。また、よいDVDやCDがとても充実してきたと思います。企画に関連したDVDなども置いてあって見られたら良いと思いました。</p> <p>こども図書館でも展示や企画を充実させてもらえたら絵本に興味を持つ子が増えたりしますし、親子でその場でゆっくり読めるコーナーがあるといいと思いますが、その方向はあるのでしょうか。</p>
主 査	<p>こども図書館の展示、イベントについてですが、コロナになってからは、イベント関係は数が少なくなっています。コロナ前は多様なイベントを実施していましたが、今はできなくなっています。展示につきまし</p>

ては、通常の毎月の展示は行っていますが、企画展示は現在はこちらに上げさせていただいたものだけになっております。親子で楽しんでいただけるような楽しい展示は、これから企画して考えていきたいと思えます。

館長 展示の間に貸出中になってしまうという件ですが、連携課とも以前から課題となっております。不足したときは、関連する図書を補充するようにしています。展示後も予約を入れていただけるようにするなど丁寧に対応したいと思えます。

委員 展示で、そこにあるから借りたいのだと思えます。特に展示の時は、なくても予約していただければと言書いただければいいと思えます。興味が深くなるのではないかとと思えます。

館長 まさにタイミングだと思えますので、検討していきたいと思えます。

委員 画像やデザインが目について思い出すこともあるので、アイコンをつけておくとか、また、リストをファイリングしてどこでも見れるようにしておくなどすると変わってくるのではないのでしょうか。

委員長 ほか質疑、ご意見はございますか。
(質疑無し)

質疑が無ければ次に移ります。

委員長 協議事項(2) 令和4年度の図書館評価指標の中間報告についてを議題といたします。
事務局の説明を求めます。

館長 (資料2により説明)【紫藤館長】

委員 2つ意見があります。まず、資料2の5の開架新鮮度ですが、令和4年度9月末で実績値が市立図書館1.7パーセントとの説明がありましたが、昨年度と比べてもかなり厳しいことだと思えます。新刊本を一気に投入するのではなく、計画的に購入し、常に新しい本を新刊コーナーに補充し続けるというところが難しいところです。本の出版も出るときと出ないときの波があるので、それも踏まえて、新刊が全くないというようなことがないように気を付けていかないとできないことだと思えます。図書館員として基本的なサービスのところです。年間通していつでも途切れなく、新刊を絶やさないようにしていただきたいところです。新刊本を目当てに来る方も多いので願います。

- 委員 もう1点は、10番のレファレンス掲載件数です。これは、マニアックですが、積み重ねていくことは、世の中に貢献していることという数値です。全国の図書館を使った皆さんが、図書館に質問を寄せて、それを職員がフォームに入力していき、何十万件の質問とその答えが一か所を検索しただけで出てくるというシステムです。全国の図書館で毎日地味に入力することによって、一年間で何千件という新しい質問がデータベースに集まり、調べると瞬時に出てくるのです。
- 入力は、1件入れるのも大変な作業です。今現在3件ということですが、目標達成するには、年度末までにあと17件入れなくてはいいけないということで、大変な苦労が見えます。まとめて入力することで質が低下してしまうので、質が下がらないように毎月少しずつ入れていく事が理想です。入力し、回答を作ること自体が、職員の研修、勉強にもなり、レファレンス研修に参加したことと同じ効果が得られるので、頑張っただけでやっていただきたいと思います。
- 委員 大事なことだったんですね。
- 委員 レファレンス共同データベースは、どのような質問があって、どのような答えかというだけではなく、どんなふうに戦略を立てて、こんな調べ方をしてというように、プロセスがしっかり書いてあり、調べ方がわかるものです。作るのは手間がかかり大変ですが、気づきや意義があることです。皆様も、関心のあるところでいいので、レファレンス共同データベースをぜひ調べてみて、図書館員がどう調べて提供しているかというプロセスをわかってほしいと思います。
- 委員 インターネットのまだない時代、40年前くらいに、本の中で不思議だと思ったことを図書館で聞いた時に、日比谷図書館に聞くといいと言われて、電話したことがありました。その時に丁寧に答えてもらい、図書館ではこんな調べ方をしてくれるんだと感激した経験があります。レファレンスは知っていましたが、掲載するのにこんな苦労をしていることは知らなかったです。委員の方々にもわかっていただきたいと思います。
- 委員 何十年も前は、国立国会図書館などへ行って、カードを調べて資料を探すのがとても大変でした。
- レファレンスというのは、誰かが聞いてきた事に関する回答で、聞いてくる方がいなければ、その必要がないということ。興味を持たない人達ばかりでしたら、レファレンス件数は減るということですか。
- 例えば、最近あった具体的な事例があったら、イメージをつかむために教えていただきたいです。
- 主任 最近のレファレンスで、一般の方からの問い合わせが多いのは、地元

のことについて知りたいという問い合わせです。例えば、飯能市の小字の地名の由来について知りたい、入間第2用水路が作られた過程について聞きたいなど、地域の昔のことに関する質問です。それ以外に漢字の斎藤のさいの字の擬態字についてどういう字があるかの問い合わせや、また、文学作品の文字の読み方の問い合わせなどもあります。市役所など行政からも問い合わせがあり、文化新聞で、昔の事件について調べるなどがあります。また、今、博物館と連携で天覧山の展示をしています。天覧山が登場する舞台の文学作品、芸術作品についてレファレンスがあり、博物館や県立図書館と共同で調べた事例があります。

委員 小さなことでも尋ねたことを回答していただけるということですね。作家の事を知りたいと質問すると、件数に上がるのですね。すぐに答えられることもあれば、時間のかかることもあるのですね。

委員 きちんとしたことを聞かないといけないと思いがちですが、実は日常的な質問も多くあります。今はネットで調べられることもあるので、件数は減っていくという傾向もありますが、日常の中で浮かんだ疑問や生活に必要なことなどを聞かれることもあります。

例えば佐久間式ドロップの式はなんですかとか、コアラのマーチのウインクしたコアラを見つけると幸せになれるという言い伝えがあるがどこから始まったのかという怪しげな情報でも質問に来られると、図書館員は調べなければなりません。簡単な質問のようでも難問だったりすると、どこかの図書館でやっていないか先人の知恵を借りるためにデータベースを使うこともあります。全国民が使えるように公開されているので、検索するとヒットすることもあります。次回、委員さんに研修、紹介してもらえると興味も湧いてよいかと思います。図書館での質問は減るかもしれませんが、悪いことではないですし、ぜひ世間に広めていただきたいと思います。

委員 簡単なことでもいいのですか。何でもネットで調べられる時代なのに聞いていいのかと思ってしまいます。

委員 ネットで探せるようなピンポイントの情報はできますが、この文献のその状況はどうかと求めるような質問など、タイトルによって出ない場合もあります。図書館員だけではなく、データベースの情報源を精査して作り、リンク集などにしていけないといけないと思います。探せる環境を作ることも立派なレファレンスです。教育的、社会的な課題だと思います。

委員 これに関する本を探してくださいだけではない。資料だけではないんですね。ネットの情報は正しいかという危ないこともあるので、取捨選択ができればいいですが、やはり図書館に来た方がいいと思います。

委員長 ほか質疑がありますか。無ければ次に移ります。
続きまして、協議事項(3)その他について事務局より説明を求めま
す。
(無し)
なければ、本日の協議事項は以上でございますので、これをもちまし
て議長の職を降ろさせていただきます。

主 査 委員の皆様のご協力、ありがとうございました。
その他何かございますか。

主 査 図書館空調設備の故障について、修繕が無事完了いたしましたので、
報告いたします。

主 査 他になければ、これで閉会といたします。
閉会の言葉を村野副委員長からお願いいたします。

副委員長 (閉会の言葉)

午前11時30分閉会

議事の内容・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。

令和 4年 11月 日

議 長 _____